

平成22年度 一般会計 予算見積 事業別概要書(当初)

款	2. 総務費	事業名	3. 防犯活動推進費		
項	1. 総務管理費	細事業名	2. 防犯活動推進費		
目	21. 諸費	担当課・係	自治人権推進課 (執行課: 自治人権推進課)		

予算分析	臨時経費	継続事業	単独事業								(単位: 千円)	
	(歳入)	(歳出)	財源内訳									一般財源
要求額	0	260	要 求									260
決定額			決 定									

実施計画の内容	(実施計画における事業の概要)	施 策	水と緑に囲まれた、快適で安心して暮らせるまちづくり/安心して暮らせるまちづくり/警察等と連携し、地域の自主防										
	【地域防犯活動リーダー研修に関する業務】 地域において、実際に防犯パトロール等に従事する者を防犯指導員として町内会・自治会・区単位に委嘱すると共に、関係機関等と連携し研修会を実施します。 【防犯意識の啓発に関する業務】 ・県警だより、犯罪発生状況のチラシ等の世帯回覧を行います。 ・自主防犯組織や関係機関との協働による、防犯キャンペーン等々実施します。	施策体系コード	02-04-01-10-10			事業番号	110-1						
		総事業費	1,190千円			事業期間	平成18年度～平成22年度						
		年度別事業費	18年度	19年度	20年度	21年度	22年度						
			360	95	360	115	260						

(事業実施に関する根拠法令)
 佐倉市犯罪のない安心して暮らせるまちづくり条例
 佐倉市犯罪のない安心して暮らせるまちづくり条例施行規則

< 事業に関する説明 >

(事業の説明) ・自治会・町内会等において実際に防犯活動に携わるリーダーを対象とした研修会を実施する。 ・防犯に関する市民の意識を上げるため、防犯キャンペーンを地域の自主防犯団体、佐倉警察署及び防犯組合連合会の協力も得て、市内2箇所で実施する。	(事業の目的) ・地域の自主防犯活動のリーダーとして必要な知識を身につけるとともに、防犯活動を通し、地域コミュニティの大切さや市民協働に関する理解を深める。 ・関係諸団体等との協力により、防犯キャンペーンを実施することで、市民に対して防犯意識の高揚を図る。また、各種団体が連携・協力し、防犯活動に取り組むことの意義や必要性を深める。	(事業の効果) ・防犯活動のリーダーとして求められる知識を身につけることにより、地域における自主防犯パトロール等の効果的な推進が図られるだけでなく、地域コミュニティのあり方についても理解が深まる。 ・関係団体等との協働による防犯キャンペーンを実施することにより、市民自らも自己防衛に努めるなどにより、防犯意識の高揚を図り、地域防犯活動の理解と協力を得ることができる。
(事業実施上の問題点) ・市内には約240の自治会・町内会等があり、地域防犯活動に対する理解や取組みもまちまちである。その点を勘案し、研修会の内容や講演(講師)を検討する必要がある。 ・防犯キャンペーンの実施については、青少年の健全育成・安全確保の観点から、関係部署や青少年団体に対しても、理解と協力が得られるよう努める必要がある。	(前年度からの見直し点) ・平成21年度の研修会は、地域や警察等と協力し、参加者にとって実践的でより身近な内容(事例発表等)で実施したが、平成22年度については、学識者による特別講演を主とする内容で実施する。	(見積についての特記事項) ・平成21年度の防犯リーダー研修会に係る予算措置はなし。そのため、警察や地域、あるいはボランティア団体に協力を要請し実施した。